

# 日本型ソーシャルファームの推進に向けて

## 2016年国際セミナー 報告書

日時：2016年9月18日（日）10:30～16:30

場所：戸山サンライズ（全国障害者総合福祉センター）

東京都新宿区戸山1丁目22番1号

報告者：成川正幸

### 参加趣旨

先進地の障がい者及びその他の社会的弱者の雇用に向けた取り組みを学び、日本型ソーシャルファームのあり方について学び、黒部市において新しい雇用を探る。



### プログラム

10:30～ 開会あいさつ

福母 淳治 氏（公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 常務理事）

10:35～基調講演「日本型ソーシャルファーム」構想の課題と現状

炭谷 茂 氏

ソーシャルファームジャパン理事長

社会福祉法人 恩賜財団済生会理事長

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会会長

11:35～報告1「フィンランドのソーシャルファームの現状と課題」

ユッカ・リンドバーグ バテス財団 開発部長

12:25～休憩

13:30～報告2「ドイツのソーシャルファームの現状と課題」

ゲーロルド・シュワルツ

ドイツ国際協力公社 民間セクター開発・雇用創出プログラム（パレスチナ）プログラム責任者

14:20～報告3「イギリスのソーシャルファームの現状と課題」

キース・シモンズ ソーシャルファームウェールズ業務部長

15:10～休憩

15:30～パネルディスカッション

欧州から見た「日本型ソーシャルファーム」への提言

パネリスト：炭谷 茂 氏

ユッカ・リンドバーク

ゲーロルド・シュワルツ

キース・シモンズ

座長：寺島 彰 氏 浦和大学総合福祉学部 学部長 教授

16:25～閉会あいさつ

野村 美佐子 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会参与

内容

## 基調講演 日本型ソーシャルファーム構想の課題と現状

炭谷 茂 氏

日本型ソーシャルファームはどのように作っていったら良いのか？

ソーシャルファームは何か？

### 1. ソーシャルファームの必要性

(1) 自分に合った適切な仕事に就く

人口の10%が障害者だとすれば日本には1千万人いることになる。

しかし、精神障害者は、17%しか働いていない。

ガン患者は、次の仕事が見つからない。見つかったとしても現在の仕事が適正に合わない。

障がい者、難病患者、高齢者、母子家庭の母、引きこもりやニートの若者、刑務所出所者、ホームレスなど。そう言った方が日本には2千万人以上いるのではないか？増えているのではないか？だから何とかしないとイケない。

(2) 2種類の就労先

仕事を用意するにはどうすればいいのか。

①税金投入の公的な職場 「給料が少ない」「やりがいを感じない」「地域によって偏在している」

働きたくても場所がない

②民間企業

一般企業の中で勤務できれば幸せ

障がい者雇用1.8%を40%しか達成していない。

オムロンは、障がい者をうまく雇用している。

栃木県で刑務所出所者を何%雇用しているところもある

民間企業だけに委ねていると対応できない。

税金に'依存することなくビジネス的手法で行う。

③ワーカーズコープ 第3の職場に属する。

社会的企業、ソーシャルファームはその一種である。

## 2. ソーシャルファームの沿革

1970年代に北イタリアにある精神病院の職員とともに地域で就労する施設を設立。

ビジネス的手法による経営で市場競争できる優れた製品・サービスでなければいけない。

日本のデパートで売ってくれるものを生産すること。

ここで働く人たちが一般就労と労働条件が一緒である。保護された人ではなく1人の市民として働ける。個人の尊厳、自尊心が得られることが重要。

②社会との結びつき

社会の一員になることが果たせる。

③ソーシャルファームとは何か

障害者と労働市場で部落問題もソーシャルファームの対象になる。

第2は 対等の

ソーシャルインクルージョン

社会から隔離

一般の方が入ることによって社会の結びつきが生まれる。

対等の同じ仲間として一般の人がいる。

例えば、古本の販売では、手入れは障がい者が行い、価格つけは一般の専門家が行う。

## 3. ソーシャルファームの要点

・就労の機会が得ることが困難な者、不利な立場に置かれている者（障がい者、難病患者、高齢者、長期失業者、引きこもりやニートの若者、母子家庭の母、DVの被害者、刑務所出所者、薬物依存症、ホームレスなど）が働く場の創設。

・給与、労働時間などは原則として一般就労者と同じ。

・ソーシャルファームがビジネスとして成功して東証一部上場 次の夢である。

・目的と理念を忘れてはいけない。

- ・社会とのつながりが重要であり、ソーシャルインクルージョン「社会的包容力」がなければやめたほうがいい。

- ・業種は、ほとんどの仕事が考えられる。環境産業は右肩上がりなので、環境産業に挑戦することは正解だと考える。そして、競争力のあるものを選ばなければならない。隣がやっているからやると失敗する。付加価値が高いもの、利潤が高いものに挑戦する。

#### 4. 各国の状況

(1) ドイツは2001年「ソーシャルファーム法」

設立時にコンサル、設備費を補助

3年間は手厚い補助

省庁が行政指導し、大規模のソーシャルファームが多数活動している。

(2) フィンランドは、2004年「ソーシャルファーム法」

設立に要する費用補助

運営費 人件費の補助

職業訓練の機能を持つものもある。

(3) イタリアは、1991年「社会的協同組合法」。

ソーシャルファームを社会的協同組合で設立した。

社会保険料（人件費1/3）支援。

比較的小規模のソーシャルファームが多くある。

(4) イギリスは、1999年「ソーシャルファームUK」発足。

情報提供・職員の研修等で支援。

民間色が強い。

#### 5. 日本での状況

- ・ソーシャルファーム的な団体が次々と立ち上がっている

- ・2008年「ソーシャルファームジャパン」発足から10年経過。サミットを年1回開催している。

- ・2016年4月超党派のソーシャルファーム議員連盟発足し、すでに2回会合している。

ソーシャルファーム推進基本法が必要だと盛り上がった。

会長は小池百合子氏であったが、都知事になったので変わる。

・ 設立実例

- ①「共働学者」（北海道新得町）
- ②「エコミラ江東」（東京都江東区）
- ③「たんぽぽ」（埼玉県飯能市）
- ④「がんばカンパニー」（滋賀県大津市）
- ⑤「ハート in ハートなんぐん市場」（愛媛県愛南町）

## 6. 日本におけるソーシャルファームの主な課題

・ どのように制度化するか

・ 法的・財政的にソーシャルファームという法人格をつくるのもひとつだが、既存の株式会社や NPO などが良いのではないか。

・ 財政援助 立ち上げ費用

独立採算が基本であり、法的援助を頼るのは自殺行為。税制措置 優遇措置が必要である。

ソーシャルファーム基本法の制定

・ 重要なのは、競争力のある商品を作ること。販売力の拡大である。そのためにロゴマークを作っていく。ホームページを使って商品の注文。指導者の養成、研修制度、採算の確保。

個人の尊厳、働きがい、生きがいを大切にし、人権を基本とする。

社会との結びつきとソーシャルインクルージョンが重要である。

### 報告 1

#### フィンランドのソーシャルファームの現状と課題

ユッカ・リンドバーグ氏

障害のある人たちに均等な機会を与える。

過去 12~13 年間にどのようなことをやってきたか、学び

#### (1) ミッション

①社会的雇用は幅広く持つこと。

1 年以上の失業者にも提供されている

労働市場において弱い立場にいる人たちにターゲットにしてサービス

ソーシャルファーム市場から一般市場に移行促進するか

ジョブコーチ

どのように仕事を提供するか考えてきた

## (2) ターゲットグループ

- ①長期失業者
- ②障害者や長期にわたる疾患のあるひと

## (3) 法的枠組みと支援

2003年に草案 2004年に施行

フィンランドのソーシャルファームは会社でなければならない。

商標登録が必要。

従業員30%以上がターゲットグループにいないといけない。

通常の所定労働時間での勤労であり、雇用経財省が記録をとっている。

ソーシャルエンタープライズ「社会的企業」になり、補助金を受けることができる。

## (4) 発展

2003年当初は、資金援助も良好であったが、10年経過して悪化している。ソーシャルファーム数は減少している。

## (5) グッドプラクティス、サクセスストーリー紹介

### 報奨金

ジョブコーチング

その人のレベルに合わせた

ジョブバンクでのトライアル

官庁が行うトライアル

労働市場から一番遠い人たち

ジョブトライアル

ジョブバンクは現在14あり、合計20社以上が参加している。

ジョブバンクがもっとあれば良い。

現在1万人雇用されており3分の1はターゲットグループから雇用されている。

雇用されるためにはジョブバンクは登録が必要であり、基準が設定されている。

30%以上ターゲットグループ

ビジネスプランの設定が必要で自分たちの独自の生産を行う必要がある。

自分たちと製品、サービスがなければならない。

2~3週間雇用してうまくいかなかったら次の人を呼ぶ、空いている人で埋める。

ジョブバンクに登録することによって情報をジョブコーチから得て困難を持つ方にチャンスにあたえる。

・ポシヴィレ社

ヘルシンキ市ウーシマ病院地区にある不動産会社で 50 人以上を雇用している。

・ラウマン・タイトクント社

民間経営でジョブバンク事業にも着手している。

公式トライアルは政府の支援。

課題と前進への道として、長期的雇用を提供するソーシャルファームを目指している

メインターゲットは精神障害者

障がい者の起業にも支援

ビジネスのアイデア、競争できる状況でなければならない

クラウドファンディングなどいろいろな資金調達を。

## 報告2 ドイツにおけるソーシャルファーム

ゲーロルド・シュワルツ氏

(1) ソーシャルファームの定義

ソーシャルファームとは？

1997 年同意に至った

現在 800 ほどのソーシャルファームがある。

WISE（雇用統合型ソーシャル・エンタープライズ）は 6 万ほどある。

ソーシャル・ファームの法的定義として、企業は一般市場で取引。特別な社会的使命を帯びた企業 重度の障がい者のある人を雇用。従業員の 25~50%は障がいのある人でなければならない

ソーシャルファームで訓練した有能な人材を他の民間企業に提供してくのも如何なものか。

(2) 最新データ

ドイツは 5%雇用 違反した企業は罰金

2014 年 842 のソーシャルファームがある。

業種

一番多いのは食料関係、ケータリング、レストラン 17.9%

障害のある人はなるべくシンプルな仕事が良い？そうは思わない。

最初は成功事例が多い食料関係から。



ソーシャルファームのロゴは意味ないのでは？  
それは、ソーシャルファームが 800 しかないから  
例外措置、優遇措置がない  
97、98 年 ソーシャルファーム UK 結成した。

### 報告 3 イギリスのソーシャルファームの現状と課題

キース・シモンズ氏

人口の 17% が障害や機能障害などを持っている。  
障がい者の再評価で就業できるだろうと評価され、その結果、実際の雇用を見  
つけるのが難しくなっている。

ソーシャルファームの 3 つの中核、企業・雇用・エンパワーメント。  
補助金の依存を減らしていき中長期的視野に立てるようにする。

収入の 50% 以上は売り上げを通じて生み出していく。

イギリスの場合は、80~90%

100% に足りないのはまだ補助金に頼っているから。

25% 以上に人

エンパワーメント、完全参加、地震と自尊心の構築。

研修やボランティアの機会を提供する。

有給の仕事を提供することに企業としてきちんと見返りがある、有給の仕事で  
ちゃんと稼ぐ。

ソーシャルファームは市場の隙間を埋め最善の成功のチャンスをもたらさなけ  
ればならない

しかし現状は 2008 年金融危機から障害者を雇用する企業も減っている。

ソーシャルファームのスタッフは 15 名ほどで小規模が多い。

マッピングエクササイズ

ビジネスを市場先導型にすることであり、創出する仕事の種流を検討するもの  
ではない。

デイケアサービスや雇用関連サービスが公共部門から離れてソーシャルファーム  
に転換されるもの。

事前プロジェクトの転換

新規ソーシャルファームの立ち上げ

ソーシャルフランチャイズ

イギリスでも数が少ない

どのようにやっていきたいのか興味深く見ていきたい。



ソーシャルファームと株式会社では、不利な立場な人の為の雇用を創出するのが一番大きい違いである。

全力で貢献してくれるスタッフと各組織によって可能になってくる。

最初のアイデアを生み出すところから成長の支援に至るまでは、あらゆる段階で支援を提供している。

成功事例は、影響があったか。イギリスは緊縮財政計画であり、ヘルスケア、ソーシャルケアを提供している地方自治体への資金も減っている。

事業性と社会性をどうバランスをとっていくのが課題である。

不利な立場にある人

ソーシャルファームの商品は、一般企業より安い、サービスは無料でしょと言われる。障がい者のサービスは劣っていて真のビジネスではないという考えがどこかしらある。

クラウドファンディング、ソーシャルインパクトボンド。

社会投資家がサービスの初期費用を投資するもの。

市場先導型 従来の資金源では調達が難しくなる。

企業社会的責任

モンソーシャルエンタープライズ

年 52 週間カフェを営業する計画だった。

年間 10 万人来る場所だったので市場がそこに存在していた。

慈善事業との協力もしてきている。

不利な立場の人の基準を設けないといけない

パネルディスカッション：

欧州から見た「日本型ソーシャルファーム」への提言

炭谷 茂 氏

ユッカ・リンドバーグ 氏

ゲーロルド・シュワルツ 氏

キース・シモンズ 氏

寺島 彰 氏

ドイツは助成金があり、雇用率もある。

イギリスは行政からの支援はない。

キックは、特別な企業形態を決めている。

税金が安く寄付が安い。

寄付文化があり、国から助成金を出していない。



スコットランドは出ているがイングランドは出していない  
EUからは出ている

質問

炭谷氏

・ソーシャルインクルージョンをソーシャルファームの成功事例が箇あるのか？

:桑の葉プロジェクト 栃木県野木町

パステル 桑の葉を使ってパンやクッキーを使った。

知的障害者を見ていると心細いと見られて、全面的に農家が協力することになった。

製粉業者がパウダーに野木町も応援。

2014年 日本まちづくり事業第1号の第六次産業であり現在、社会の中に溶けこんでいる。

・障害者雇用と移民雇用が似ている。健常者から不満の声は出ないか？

雇用政策 全ての人を対象にしないといけない。

移民政策と似ている。

中東からの移民は、言葉が話せない。教育も差がある。しかし、移民の数はドイツと比べると少ないのであまり問題にはなっていない。

・ソーシャルファームが旧来のシェルターワークショップで難しく、多くの団体から脅威とみなされた。

ソーシャルファームが増えて助成金はが使われつと作業所への助成金が減ると思われたのかもしれない。

・ソーシャルファーム6割の方は障害のない方や団体からどうやって雇用されるのか？

障害者支援でドイツのソーシャルコンサルタントから研修を受けることができる。全ての人が協力して職場を作っている。

隙間産業 ニッチのマーケット。そもそもチャンスがない市場、機会の少ない市場、他の人が手をつけないところに着手する。ソーシャルファームは他の方があまり着手していない部分に目を付ける。

ソーシャルファームを包括するエンタープライズが活躍している現れである。  
フィンランド 割り当て制度は反対している。

所感

今後、日本は高額医療費、高齢者福祉費など、ますます厚生費が増大するであろう。その中であって、介護保険だけではなく障害者年金なども含めて大変

厳しくなっていくと予想される。

障がい者を含めた社会的弱者が生活していく上で、支援から自立へ向かう事が重要だと考える。

例外はあるだろうが、障がい者施設が製造販売しているクッキーなどには美味しいものはない。美味しくないけど購入してあげようという気持ちは無いか？このまま続けていても就労A型の最低賃金から脱することはできない。

美味しいもの、住民が求めているものを製造し販売する。それが適正な賃金、就労環境に繋がるのではないか。人それぞれ適正があり、自分に合った仕事があるはずである。そういった仕事に就くことで生きるチカラとなり、支援から自立に繋がるのではないかと考える。

それがソーシャルファームという考えであり、とても素晴らしいと思った。

今後、国内の5つの設立事例を自分の目で確かめていきたい。

そして今後、日本で広がっていくことを期待しているが、私自身もこの考え方を広めていきたいと思う。

以上